久しぶりの熱戦に歓喜の声
「内子町自治会対抗決勝大会」

3年ぶりとなる「内子町自治会対抗決勝大会」は6月5日、レクバレーは五十崎体育館、ソフトボールは内子運動公園で行われました。新型コロナの影響で例年よりも少ないチーム数でしたが、参加することの楽しさを再確認する大会となりました。

レクバレーは4自治会が出場。リーグ戦方式で争いました。第5試合で2勝0敗同士の城廻と平岡が対戦。城廻が1セット目を先取しますが、平岡が見事に逆転。平成27年から大会4連覇した実力を発揮し、久しぶりの優勝杯を手にしました。

ソフトボールは5自治体がトーナメント戦で雌雄を決しました。決勝戦は小田対廿日市。3回までに7対0と廿日市が大量リードしますが、5回の集中打などで小田が逆転。その後も点を取り合う接戦を小田が制し、11対12で勝利を収めました。

3年ぶりの大会を制した小田自治会（上）と平岡自治会の選手の皆さん

「内子町長杯クロッケー大会」
大瀬中央大久保が大会3連覇

「内子町長杯クロッケー大会」（内子町・内子町老人クラブ連合会主催）が6月15日、内子運動公園で開かれました。

36チームが熱戦を繰り広げた今大会。決勝戦は予選から全勝の大瀬中央大久保チームと程内チームが戦い、15対12で競り勝った大久保チームが大会3連覇を達成しました。両チームは11月に開催する県大会へ出場します。

優勝した上岡稜雄（いつお）さんは「まさか3連覇できるとは思わなかった。県大会でもいい成績が残せるようにみんなで頑張りたい」と喜びを語りました。

大会3連覇を果たした大瀬中央大久保チームの皆さん

景観と分煙に配慮した喫煙所
葉たばこ生産組合が町に寄贈

内子町葉たばこ生産組合（忽那喜伴（よしとも）組合長）から町に喫煙所が寄贈され、5月9日に受贈式が城廻地区の護国駐車場で行われました。同所に設置されたのは町産材を利用した木造の喫煙所で、屋根には地元産の「シノギ桟瓦（さんがわら）」を葺いています。八日市護国伝統的建造物群保存地区を訪れる人々の駐車場でもあり、景観や分煙に配慮しながら、愛煙家も快適に利用できるように工夫されています。

忽那組合長は「生産者が激減する中、これまでの感謝の気持ちを形にしたかった」と話しました。

寄贈された喫煙所の前で記念撮影をする関係者の皆さん

広報広聴のあり方を考える全国大会
「つながりの力」をテーマに内子町で開催

「第59回全国広報広聴研究大会」（日本広報協会主催）が6月3日、内子座で開催されました。毎年、開催地を変えて開かれるもので、愛媛県では昭和61年（1986年）の松山市以来、2度目。日本広報協会によると、「町」が開催地になるのは初めてのことだそうです。

大会には全国各地の広報担当者など、約200人が参加。全国広報コンクールの表彰式もあり、最高賞の内閣総理大臣賞1点、総務大臣賞9点、入選など77点を表彰しました。県内からは西条市が総務大臣賞を受賞、愛媛県と東温市、内子町が入選しています。

内閣総理大臣賞を受賞した埼玉県北本市と、特選を受賞した西条市の事例発表のほか、自治体広報をけん引してきた職員5人らが「原点回帰。つながりが広報とまちの力に」をテーマにしたパネルディスカッションを行いました。

多くの参加者が「温かいおもてなしに感動した」「内子座での開催はいい思い出になる」と満足そうに話してくれました。

1_会場となった内子座　2_日本一となる内閣総理大臣賞と銀杯を受け取った北本市の荒井菜彩季（なつき）さん（右）と林博司（ひろし）さん　3_事例発表をした西条市の八塚智史（さとし）さん　4_つながる力を再確認したパネルディスカッション　5_紙吹雪が舞う花道を歩いて壇上に向かう受賞者の皆さん

内子運動公園の改修工事が完了
記念の落成式と野球教室を開催

内子運動公園の全ての改修工事が完了したことを記念した落成式が6月18日、同公園内の野球場で行われました。式では小野植正久（まさひさ）町長が「協力いただいた皆さんに感謝。健康増進やコミュニティの拠点として、町民の皆さんに愛される場になってほしい」と式辞を述べ、株式会社森本など14社に感謝状を贈呈しました。

落成式後には、新しい球場で野球教室を開催。元プロ野球選手でヤクルトスワローズの山部太（ふとし）さんや地域球団で活躍する選手5人らが、野球やソフトボールをしている子どもたちに投げ方や打ち方の基礎を教えました。

なお、改修工事の工期は平成27年8月から令和4年6月、総事業費は約7億6300万円です。プールや野球場、公園、駐車場など9つの施設が新しくなり、機能性や利便性が向上しました。

1_落成式の会場となった野球場　2_元プロ野球選手の山部さんが子どもたちを指導　3_関係各社に感謝状が贈られた　4_野球教室に参加した球児たち